



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 協栄産業株式会社  
 コード番号 6973 URL <https://www.kyoei.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 水谷 廣司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 村本 篤 TEL 03-3481-2111  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	42,736	△0.4	146	131.7	128	129.9	238	—
2019年3月期第3四半期	42,892	6.6	63	—	55	—	△188	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 404百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △854百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	78.17	—
2019年3月期第3四半期	△61.71	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	36,577	13,829	37.8
2019年3月期	36,428	13,548	37.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 13,829百万円 2019年3月期 13,548百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年3月期	—	20.00	—		
2020年3月期（予想）				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	4.3	400	38.5	350	40.0	200	—	65.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	3,193,545株	2019年3月期	3,193,545株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	146,175株	2019年3月期	145,755株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	3,047,633株	2019年3月期3Q	3,047,933株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続きましたが、米中貿易摩擦による中国経済の減速を受けて輸出や製造業における設備投資に弱さが見られるとともに大型台風襲来による自然災害の影響を受け、生産活動が停滞するなど、緩やかな持ち直しの動きに足踏み感がみられる状況で推移いたしました。

また、海外においては、米国経済は、個人消費は底堅く推移いたしました。米中貿易摩擦に端を発した中国経済の減速や英国のEU離脱問題の影響等で、減速感が強まるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

このような情勢の下で、当社グループが持つそれぞれの機能の融合と、グループ間及び部門間相互の連携により、顧客ニーズに対する速やかな対応や積極的な営業活動の推進を図るなど、収益向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は427億3千6百万円、前年同期に比べて0.4%の減収、営業利益は1億4千6百万円、前年同期に比べて131.7%の増益、経常利益は1億2千8百万円、前年同期に比べて129.9%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億3千8百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失は1億8千8百万円）という成績になりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

## (商事部門)

- ・売上高 323億3千4百万円（前年同期比3.4%減）
- ・営業利益 5億3千9百万円（前年同期比12.5%増）

商事部門においては、売上高は、やや伸び悩みましたが、利益面は、FA・環境システム事業での電子部品向け部材用加工機関連等が伸長し、順調に推移いたしました。

事業別の詳細は以下のとおりです。

## &lt;半導体デバイス事業&gt;

半導体分野では、自動車関連は、国内向け及び北米向けは弱含みましたが、中国向けが順調に推移いたしました。また、車載機器装置向けは、危険運転対策への意識の高まりにより、引き続き市場が拡大し、順調に推移いたしました。

白物家電関連では、空調機は、国内向けは、消費税増税による駆け込み需要の反動もあり、やや低調に推移いたしました。中国向けは、堅調に推移いたしました。

産業機関連では、中国経済の減速を受け、半導体製造装置向けが、やや低調に推移いたしました。

電子デバイス分野では、スマートフォン関連向けは、堅調に推移いたしました。

## &lt;FA・環境システム事業&gt;

産業メカトロニクス分野では、中国経済の減速傾向を受け市場全体は弱含みましたが、主要取引先の半導体製造装置メーカー等において、積極的な設備投資があり、電子部品向け部材用加工機関連等は、好調に推移いたしました。

FA機器分野では、半導体製造装置メーカーに対する積極的な受注活動及び主要仕入先との連携による拡販活動もあり、堅調に推移いたしました。

3Dプリンタビジネス分野では、二次店連携による保守・消耗品ビジネスの増加により好調に推移いたしました。

環境ビジネス分野は、太陽光発電等の省エネ関連及び冷熱機器関連ともに低調に推移いたしました。

## (ICT部門)

- ・売上高 39億9千2百万円（前年同期比0.8%減）
- ・営業利益 3億4千1百万円（前年同期比22.0%減）

ICT部門においては、総じて堅調に推移いたしました。

なお、ICT部門では、9月及び3月に売上高及び利益の計上が集中する傾向にあります。これは従来からの業界傾向であります。

事業別の詳細は以下のとおりです。

## &lt;ビジネスソリューション事業&gt;

ビジネスソリューション事業は、総じて堅調に推移いたしました。

エンドユーザー向け提案型システム開発は、大型リプレース案件並びに既存ユーザーからの開発案件の受注もあり、順調に推移いたしました。

サービス提供型ビジネスは、FACE (FAX送受信の代行サービス) において、新規顧客による運用開始並びに既存ユーザーの利用拡大もあり、順調に推移いたしました。

パッケージソフト販売は、堅調に推移いたしました。

受託ソフト開発は、好調であった昨年と比較すると電力関連向けが、低調に推移いたしました。

#### <エンベデッドシステム事業>

エンベデッドシステム事業は、総じて順調に推移いたしました。

特定用途向け専用装置販売は、通信制御装置をはじめとした各種製品の受注により、順調に推移いたしました。

エンドユーザー向けシステム開発は、受注に苦戦し、低調に推移いたしました。

受託開発は、運輸交通関連等のシステム開発の受注により、順調に推移いたしました。

#### <IC設計事業>

IC設計事業は、主要顧客からの受注が弱含みましたが、新規受注活動により、総じて堅調に推移いたしました。

#### (製造部門)

- ・売上高 65億2百万円 (前年同期比20.3%増)
- ・営業利益 1億8千5百万円 (前年同期比216.9%増)

製造部門においては、生産面では、部材メーカーのサプライチェーンが大型台風の襲来による影響を受けたことにより、仕様変更等の対応に取り組む一方、販売面は、車載向け特殊基板の受注が伸長し、順調に推移するとともに、利益面では、海外で中国基板メーカーと連携して行っている基板ビジネスが拡大したため、好調に推移いたしました。

事業の詳細は以下のとおりです。

#### <プリント配線板事業>

通信基地局向けモジュール基板の受注は、低調に推移いたしました。車載向けのメタルコア基板、厚銅箔基板、特殊技術を活用したLED応用製品向けモジュール基板の受注が引き続き伸長したことにより、総じて順調に推移いたしました。

海外で中国基板メーカーと連携して行っている基板ビジネスは、車載向け及び住宅設備向けリジット基板の受注が順調に推移するとともに、パソコン向けフレキシブル基板の受注が伸長し、総じて好調に推移いたしました。

なお、2019年7月1日付で、当社のプリント配線板製造事業を、連結子会社である福島協栄株式会社に承継させる会社分割を行うとともに、同日付で福島協栄株式会社の商号を協栄サーキットテクノロジー株式会社に変更いたしました。詳細は、2019年4月25日に開示しております「連結子会社との会社分割(簡易吸収分割)及び子会社の商号変更に関するお知らせ」をご覧ください。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1億4千9百万円増加し、365億7千7百万円となりました。

- ・流動資産は、仕掛品2億6千1百万円の増加、商品及び製品1億8千6百万円の増加、現金及び預金2億9千万円の減少、受取手形及び売掛金2億6千9百万円の減少等により、1億5千4百万円増加し、297億6千4百万円となりました。
- ・固定資産は、有形固定資産4億6千1百万円の減少、投資有価証券3億5千9百万円の増加等により、5百万円減少し、68億1千3百万円となりました。
- ・流動負債は、短期借入金15億2千1百万円の増加、再整備費用引当金3億6千4百万円の減少、賞与引当金3億2千5百万円の減少等により、6億8千7百万円増加し、177億3千6百万円となりました。
- ・固定負債は、長期借入金12億1千5百万円の減少等により、8億1千9百万円減少し、50億1千1百万円となりました。

この結果、純資産は、2億8千1百万円増加し、138億2千9百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の37.2%から0.6ポイント増加し、37.8%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、現時点では2019年5月14日に公表いたしました数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,155,483	3,865,211
受取手形及び売掛金	14,244,162	13,975,141
電子記録債権	2,952,091	3,031,794
商品及び製品	7,232,141	7,418,749
仕掛品	410,537	672,247
原材料及び貯蔵品	241,621	287,780
その他	390,827	533,692
貸倒引当金	△16,943	△20,008
流動資産合計	29,609,922	29,764,609
固定資産		
有形固定資産	2,202,741	1,741,713
無形固定資産	489,336	499,829
投資その他の資産		
投資有価証券	2,766,657	3,125,714
退職給付に係る資産	592,241	622,271
繰延税金資産	2,123	1,959
その他	879,543	955,288
貸倒引当金	△114,351	△133,499
投資その他の資産合計	4,126,215	4,571,733
固定資産合計	6,818,293	6,813,277
資産合計	36,428,216	36,577,886
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,348,671	8,556,150
電子記録債務	1,789,435	1,558,879
短期借入金	2,855,552	4,376,597
1年内返済予定の長期借入金	1,787,000	1,662,000
未払法人税等	172,558	85,270
賞与引当金	457,819	132,314
工事損失引当金	—	3,418
再整備費用引当金	365,538	1,537
その他	1,272,616	1,360,369
流動負債合計	17,049,191	17,736,537
固定負債		
長期借入金	4,917,500	3,702,250
繰延税金負債	542,918	553,736
事業構造改善引当金	—	389,246
その他	370,402	366,275
固定負債合計	5,830,820	5,011,508
負債合計	22,880,011	22,748,046

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,161,819	3,161,819
資本剰余金	3,120,235	3,120,235
利益剰余金	6,386,536	6,502,848
自己株式	△423,159	△423,774
株主資本合計	12,245,432	12,361,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,011,156	1,255,626
為替換算調整勘定	115,171	71,665
退職給付に係る調整累計額	176,444	141,419
その他の包括利益累計額合計	1,302,772	1,468,712
純資産合計	13,548,204	13,829,840
負債純資産合計	36,428,216	36,577,886

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	42,892,393	42,736,819
売上原価	37,861,085	37,406,114
売上総利益	5,031,307	5,330,704
販売費及び一般管理費	4,967,864	5,183,723
営業利益	63,443	146,981
営業外収益		
受取利息	556	524
受取配当金	84,851	76,331
その他	60,026	80,149
営業外収益合計	145,435	157,006
営業外費用		
支払利息	90,882	87,702
為替差損	15,649	30,750
債権売却損	6,174	5,657
その他	40,492	51,853
営業外費用合計	153,197	175,964
経常利益	55,680	128,023
特別利益		
固定資産売却益	—	920,230
投資有価証券売却益	60,228	169
子会社清算益	475	—
特別利益合計	60,703	920,399
特別損失		
固定資産売却損	—	150
固定資産除却損	4,780	1,169
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	—	76
再整備費用引当金繰入額	229,380	—
再整備費用	1,822	9,905
減損損失	—	362,869
事業構造改善引当金繰入額	—	389,246
特別損失合計	235,982	763,419
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△119,598	285,004
法人税、住民税及び事業税	31,621	128,363
法人税等調整額	36,873	△81,580
法人税等合計	68,494	46,783
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△188,093	238,220
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△188,093	238,220



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△188,093	238,220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△701,705	244,470
為替換算調整勘定	46,829	△43,505
退職給付に係る調整額	△11,666	△35,025
その他の包括利益合計	△666,542	165,939
四半期包括利益	△854,635	404,159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△854,635	404,159

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(事業構造改善引当金)

事業構造改善に伴い発生する費用及び損失に備えるため、その発生見込額を計上しております。

(特約店契約の解消)

当第3四半期連結会計期間において、ルネサスエレクトロニクス株式会社との特約店契約を、2019年12月31日付で解消いたしました。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	商事部門	ICT部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	33,474,130	4,012,935	5,405,327	42,892,393
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5,393	13,900	—	19,294
計	33,479,524	4,026,835	5,405,327	42,911,687
セグメント利益	479,442	437,535	58,386	975,364

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	975,364
全社費用(注)	△911,920
四半期連結損益計算書の営業利益	63,443

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	商事部門	I C T部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	32,257,649	3,976,733	6,502,436	42,736,819
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	77,312	16,030	—	93,343
計	32,334,962	3,992,764	6,502,436	42,830,162
セグメント利益	539,352	341,452	185,050	1,065,855

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,065,855
全社費用(注)	△918,874
四半期連結損益計算書の営業利益	146,981

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「製造部門」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、348,979千円であります。

各報告セグメントに配分していない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、13,890千円であります。